平成 27 年 11 月 16 日　総務委員会　所管事務調査　資料 13

第１回 八代市新庁舎建設 窓口検討専門部会 会議録

平成 27 年 10 月 2 日（金）13 時～14 時／22 号会議室

■　健康福祉政策課　山内（部会長）　■　学校教育課　高崎（副部会長）
■　市民課　福本　■　市民課　村崎　■　こども未来課　坂本
■　国保ねんきん課　岩井　■　納税課　中津　■　市民税課　井戸
■　障がい者支援課　坂川　■　長寿支援課　元村　■　会計課　松田
■　健康推進課　石井

≪欠席≫
□　東陽支所地域振興課　松岡

１．意見交換（カテゴリー別）

【窓口業務】
・市民課、国保税、市民税の流れがあるので、ワンフロアが望ましい
・市民課のように、国保ねんきん課も受付順番が分かる案内機があるといい

【窓口案内】
・国保ねんきん課は窓口番号に枝番があるので、来庁舎が迷われる
・福祉事務所から国保や市民税が見渡せないので、来庁者を案内しづらい
・会計に支払いに来られても納付書が無い場合は担当課で納付書を発行してもらう必要があるが、見渡せないため案内しづらい
・「会計課」と「市金庫」のと違いが分かるよう、表示を分かりやすくする方がいい

【プライバシー】
・納税課では「今回だけ（単発）の人」や「滞納の常習者」が相談に来られ、常習者などは個人の細かいことまで話すが、オープン過ぎて話せない
（銀行の融資窓口みたいなものが欲しい）
・障がいの中でも精神は面談室を使うが、窓口の隣に面談室が欲しい
・高齢者の虐待など、カウンターでの相談が出来ない事案のために面談室が欲しい

【子ども】
・窓口で子どもがごちゃごちゃなるので、キッズスペースがあると助かる
・一人親の手続きは時間が掛かるので、子どもを遊ばせるスペースがあるといい
・授乳室が無いため、旧収入役室を案内すると、利用者が気の毒がられる

【教育委員会の移転影響】

・教育委員会が千丁支所にあるため、転入者への案内が難しい

・こども未来課は教育委員会との連携が多いが、支所にあるためスムーズにいかない

【機能】

・転入妊婦の手続きや、子どもの予防接種などは、来庁者が保健センターと電話で話し説明しているが、新庁舎は一本化を考えて欲しい

【執務空間】

・福祉事務所はエレベータ横が出入口で混雑するため、広いスペースがいい

・福祉事務所の長椅子が重く動かせない上に、通路が狭く車椅子が通れない

・元々窓口が狭い

第１回 八代市新庁舎建設 文書管理検討専門部会 会議録

平成 27 年 10 月 2 日（金）　14 時～15 時／22 号会議室

■　文書統計課　福田（部会長）■　水道局　松岡（副部会長）■　企画政策課　塚本
■　健康福祉政策課　塚本　■　建設政策課　上田　■　教育政策課　内田
■　建築指導課　五十嵐

≪欠席≫
□　市民活動政策課　中松　□　商工政策課　大江田　□　農業水産政策課　内田
□　農業振興課　豊田

１．意見交換（カテゴリー別）
現状（別の倉庫、地価書庫、永年保存量、特別なサイズの図書）について

【現状】

・把握していないのが実情。

・保管場所の確保が難しい、総合福祉センターの空き部屋に保管している。

・レセプトなど大量にあるものをどうしているかは、担当課に聞かないと判らない。

・教員や用務員の任用があり、永年保存が増えている。

・千丁支所に移転したが、文書は本庁の書庫に置いたままである。

【過去の経緯】

・IPK の文書管理システムを導入したが、紙は減らなかった。

【改善策】

・文書の保存年限の見直し。

・「永年文書」の見直し。

【今後の展開】

・課題に対する議論を深めるために、各課に保管文書量の照会をかけてみては。

・通常「Fm：ファイルメーター」の単位を使うが職員が理解しやすいように「オキカエケース何箱」の単位で照会してみてはどうか。

第１回 八代市新庁舎建設 ＩＴ関連検討専門部会 会議録

平成 27 年 10 月 2 日（金）15 時～16 時／22 号会議室

■ 情報政策課　高木（部会長）■ 教育施設課　塩塚（副部会長）■ 情報政策課　坂井
■ 市民活動支援課　坂井　■ 国保ねんきん課　松本　■ 会計課　田中
■ 危機管理課　南　■ 議会事務局　梅野

≪欠席≫

□ 情報政策課　緒方 義久

１．意見交換（カテゴリー別）

【現　状】

・マイナンバー制度のスタートにより、総合行政システムをインターネットが閲覧できる環境と完全分離することとなったことから、それぞれのＰＣを設置している。(国保ねんきん課では１人に対して最大３台。①インターネット、②総合行政、③広域連合)

・電子機器の使用の多様化により、電力不足時にブレーカーが落ち、複合機がシャットダウンする場合がある。

・執務室のレイアウト変更がフリーアクセスフロアで無いため困難である。

・平成１５年度に、庁舎ネットワークを有線で構築している。(１系統のみ)

・機構改革・人事異動に伴う、ネットワークや電話等の配線作業が煩雑。

・現庁舎建設時に比べ、PC やプリンタ等の OA 機器の増加により、電源容量やコンセント不足が否めない

・停電時には、スイッチングハブへの電源供給が断たれ、ネットワークが切断される。
・現在、防災上の警戒体制が敷かれた場合、災害情報室を設けることとなっており、３１号会議室がその部屋となっている。ただ、普段は何の設備も無いことから、電話機を増設し、参集した職員が執務室より業務に使用しているＰＣを持ち込み、ＬＡＮ回線を配線・接続して業務にあたっている。
・また、災害情報室で受けた情報などは、業務にあたっている職員が危機管理課と行き来して情報のやり取りを行っている。
・現在、インターネットによる議会の生中継、および過去の議会中継をライブラリとして閲覧できるようにしているが、タブレット・スマートフォンには対応しておらず視聴できない状況にある。

【課　題】
・端末の共通化を行なう必要がある。（例えば「シンクライアント」など。キーボードとディスプレイを１台にして、画面を切り替えながら業務を行うことができる仕組みだが装置が高額。端末を３台買って並べたほうがスペースはとってしまうが安価。）
・必要な電力の確保
・執務室レイアウトの容易な変更が可能になるようにする必要がある。
・ネットワークの効率化、緊急時の冗長化、セキュリティの維持向上、モバイル等の無線 LAN への対応
・毎年、年度末の異動時期に手間がかかる。
・タコ足配線等により、火災の危険がある。
・ネットワークの切断により業務に支障がある。
・電話機の増設は財政課が、ＬＡＮの増設は情報政策課がその都度行っているが、夜間や休日などの対応が心配される。
・事務室と災害情報室がしっかりと区切られているため、両部屋間で情報が錯綜する場面や確認に時間を要することから、情報共有出来るシステムが必要である。
・専用の部屋と設備でないため、各職員が業務に使用するＰＣを持ち込み業務にあたる必要があり、好ましくない。
・平成２６年度に導入した中継システムを利用して対応するには、数百万単位の経費とシステムの改修が必要であるとのことであり、さらに新庁舎建設を考慮した場合、現時点でシステムの改修を行うのは難しいのではないかと考えている。

【解決策】
・ひとつのＰＣにおいて複数の業務か可能な技術の導入（リモートデスクトップの活用など。手元のコンピューターからネットワークで接続された他のコンピューターのデスクトップ環境を操作する技術の総称。）
・電源周りの見直しおよび小電力機器の導入
・フリーアクセスフロア化や移動式パーティションを導入し時代に応じた執務室のレイアウトがし易いようにしたほうが良いのでは？

▸フロアスイッチ（L2 スイッチ：全てのポートが１Ｇｂｐｓ以上が必要条件）

・各階等の要所には、フロアスイッチを設置し、サーバ室のコアスイッチと接続されるものとする。
・コアスイッチとフロアスイッチは光回線の４芯で接続すること。
・よってフロアスイッチが設置されるところには、鍵付き収納箱と電源が必要となる。
・不足するフロアスイッチの機器及びＵＰＳ（無停電源装置）は、情報政策課で用意する。

▸エッジスイッチ（L2 スイッチ：全てのポートが１Ｇｂｐｓ以上が推奨事項）

・各課かい及び室には、エッジスイッチを設置し、フロアスイッチと接続されるものとする。
・フロアスイッチとエッジスイッチは、ＬＡＮ線（カテゴリー７以上）で接続すること。（２重推奨）
・よってエッジスイッチが設置されるところには、鍵付き収納箱と電源が必要となる。
・当初はエッジスイッチがない部屋でも、将来のためにＬＡＮ配線と電源配線は必要である。
・不足するエッジスイッチの機器は、情報政策課で用意する。

▸ハブ

・各係や窓口等には、ハブを設置し、エッジスイッチと接続されるものとする。
・エッジスイッチとハブは、ＬＡＮ線（カテゴリー5e 以上）で接続する。
・ハブについては、速度１Gbps 以上の性能に交換することが望ましい。

▸配線

・床をフリーアクセス（２重床）とする、または将来の間仕切り変更に対応できるなど、配線を容易にする配慮があること。

▸無線ＬＡＮ設備

・各課かい及び室には、無線ＬＡＮルーターを設置し、フロアスイッチと接続されるものとする。
・フロアスイッチと無線ＬＡＮルーターは、ＬＡＮ線（カテゴリー５ｅ以上）で接続すること。
・無線ＬＡＮルーターは、天井近くに設置しなければならず、電源も必要である。

・住基系統のネットワークについては、セキュリティの問題上、有線ネットワーク。
・情報系のネットワークについては、無線 LAN の導入（セキュリティについては検証）。
・無線 LAN 化に伴い、全庁的に市民向けへの HOTSPOT 開放。（HOTSPOT：NTT コミュニケーションズの公衆無線 LAN サービスの名称（登録商標）であるため、一般名詞としては「無線 LAN スポット」「Wi-Fi スポット」「フリースポット」（無料の場合）などが用いられることが多い。）
・スイッチングハブや無線のアクセスポイントに UPS 設置。（UPS：無停電電源装置の略）
・専用の災害対策室や災害情報室を設け、通常業務と別に専用の回線やＰＣを常設する。
・情報の共有が可能なように、大型のモニターに必要な情報を掲示（表示）出来るようにする。

・市民に提供可能な情報または提供すべき情報は、リアルタイムで提供できるシステムや回線を整備する。
・新庁舎の建設に合わせ、一括して新しいシステムの導入が可能であればコスト的により安価に導入できるのではないかと考える。

【その他】
・新庁舎建設時に災害情報室を含む常設の災害対策室を設けることが実現できれば、ある程度は解決できることかと思う。
・現在は、災害情報室を設ける際に、予定されていた会議も会場を変更してもらうなどして対応しており、多方面にご迷惑をかけている。

第１回 八代市新庁舎建設 敷地内有効活用検討専門部会 会議録

平成 27 年 10 月 2 日（金）16 時～17 時 30 分／22 号会議室

■　商工政策課　角田（部会長）
■　建設政策課　涌田
■　観光振興課　松本
■　建設政策課　福田
■　文化振興課　山崎（副部会長）
■　企画政策課　篠原
■　文化振興課　松本
■　都市整備課　三隅
■　企画政策課　田中
■　商業振興課　野口
■　観光振興課　西村

≪欠席≫
□　環境課　武宮

１．意見交換（カテゴリー別）

【景観】
・市民の憩いの場（緑地･公園･ガーデンにカフェなど）
・ガーデンにベンチがある空間
・ここは二の丸。八代城の東側。全室キャッスルビューもかっこいい

【敷地利用】
・環境センターのように、半分の面積を建て替えの予定地として確保すべき
・大きな樹木を活かして緑地を確保した方がいい

【駐車場】
・駐車場は職員を含め有料化が望ましい
・駐車場を確保するために、建築面積を下げ容積率を上げ、新庁舎を高層化してはどうか

【付帯施設】

・新庁舎はコンビニや商店街の一部が入った複合化がいい

・新庁舎を広く低く造り、複合部分を盛り込んではどうか

・庁舎内に作業スペースがあると助かる

・倉庫に繋がった作業スペース

・入りやすく、インフォメーションが充実

・金が稼げる建物

【バス】

・バス路線は 2 ヶ月で変更出来るため、今のバス停にこだわる必要はない

・同じ時間にバス 3 台は来てしまうため、3 台分の滞留スペースは必要

・バスターミナルやバスベイは必要なく、現行のバス停で十分

・敷地の公園が決まってバスターミナルやバスベイを決めては

【その他】

・市役所が中心市街地に与える影響や、市役所の敷地を活用出来る案を考えてみては

・市役所は中心市街地への入り口なのか、ルートのひとつなのか、フラッグシップなのか

・倉庫の中で備品の一元管理すべき

・事業費削減のため、事業課などは空きビルに行く

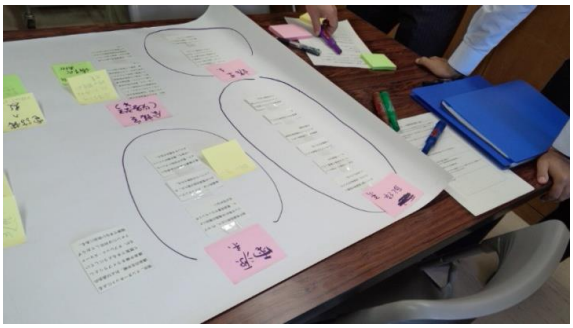
第２回　敷地内有効活用検討専門部会（10 月 23 日　9：00～10：45）

※　第１回会議での現状課題を整理し優先順位を協議

第２回　文書管理検討専門部会（10 月 23 日　11：00～12：00）

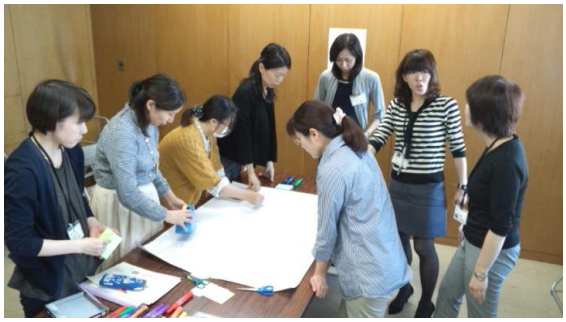
※　各課が所有する文書（簿冊）実態調査について協議

第２回　IT 関連検討専門部会（10 月 23 日　13：00～14：50）



※　問題点を整理し、解決策を協議

第２回　窓口検討専門部会（10 月 23 日　15：00～16：35）



※　現状と課題を整理し、解決策を協議